

住所氏名等に変更等がございましたら、お手数ですが上記までお知らせください。

## 石井こうじ議会レポート

令和6年11月議会においては「安心・安全の確保」「文化・スポーツを活かしたまちづくりの推進」「地域経済の活性化」「脱炭素化の推進」の4つを柱に予算を編成。市民生活の向上や人口減少対策につながる予算を審議しました。

また、今議会において一般質問に登壇しましたので、質問内容を中心に、以下ご報告申し上げます。



静岡市議会議員 石井孝治

### 人とペットの共生できる環境づくりについて

昨今の愛玩動物を取り巻く現状は、管理から愛護への変革、また、飼育環境が厳格化されてきている中、ペットを取り巻く課題は増加、複雑化してきています。

本市では過去、殺処分になってしまう動物をゼロにするべく重点的に管理監督に取り組まれてきました。その成果として、犬については令和に入ってから殺処分ゼロ、猫は令和元年に比べ5年度は95%減の15頭まで減少しており、取組が実を結んでいる証拠であります。

しかし、ペットを取り巻く環境が指導管理から愛護に変わってきている状況で、ペットとの共生環境づくりのため、本市でも変えていかなければなりません。その為、独自の動物愛護憲章を策定した自治体もあります。



**Q** 時代に即した役割と地域に根差した取組に変化する必要があると考えるが、動物行政について、本市の基本的な考え方はどのようなか。

**A** 本市では、「人と動物の共生する社会」の実現を目指し、「飼い主責任の徹底」、「人と動物の安全と健康の確保」、「地域活動の充実」を掲げ市民の動物愛護精神の啓発、向上、殺処分ゼロに向けて譲渡などに取り組んでいます。

### 動物愛護センターのあり方について

2つの建物からなる動物愛護センターは築約46年経過しています。当初は指導管理の目的のため、抑留施設があるなど、現代の愛護や啓発といったあり方からは不釣り合いな施設となっています。また、施設自体も老朽化が進んでいたり、冬場は日のさす時間も短く、職員にとっても、動物にとっても適した環境ではない現状です。

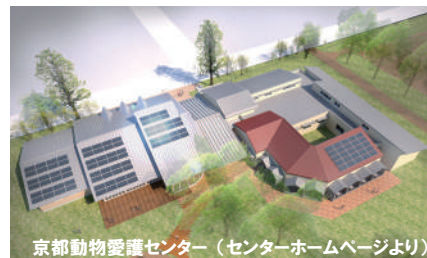


今後、動物愛護精神の向上や啓発に取り組んでいく為にも市民が訪れやすく、また訪れたいと思える施設にしていくべきです。

**A** 本施設は動物愛護を効果的に推進していく為の拠点であるとともに、災害時のペット対策の拠点でもある。しかし、現在の施設では動物の保護環境が整っておらず、市民にとっても親しみやすい施設ではない。したがって、今後は応急的な対応ではなく、**再整備などの抜本的な対応**をしていくため、方針を検討中で、今年度中に決定する予定。

### 私の考え

動物愛護センターは、「市民が来やすい、来たいと思える施設」にするため、市街地への移転も検討すべきと考えます。例えば京都の愛護センターは街中の公園内にあります。あくまでも一例ですが、今後再整備される城北公園のような、大型の公園に設置するのも動物愛護や啓発の趣旨に合っていると考えます。

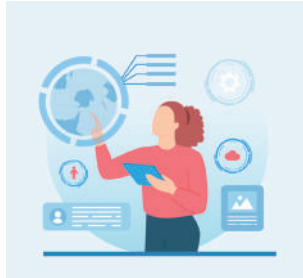


京都動物愛護センター（センターホームページより）

**Q** 本市の動物愛護センターの今後の在り方と老朽化した施設の対策について、どのように考えているのでしょうか。

## 静岡市デジタルデータの活用について

本市では市政変革が必要であるとの市長の考えの下、政策立案から実行、そして目標に到達するまでの行政能力の強化に取り組んでいます。取組にあたっては、既存の手法や前例にとらわれない考え方で進めるとともに、限られた予算や人員などのリソースをどのように活用するべきか、様々な角度から検討する必要があります。そういった課題認識や取組の根本となるのがデータであり、データを収集し分析・活用することで、政策や課題解決に結びつける必要があります。これが根拠に基づいた政策立案であり、基礎となるデータが重要であることは明らかであります。



**Q** デジタルデータの活用で、静岡市デジタル化推進プランにどのように位置づけて推進しているのか。

**A** デジタルデータの活用では、行政データサービスのオンライン化や、保有するデータをオープンデータ化する基本的な施策に加え、民間から要望のあるデータを公開するなど、積極的に取り組んでいる。政策決定においては各局が個別に保有しているデータの横断的な活用が必要。その為の環境整備として、統合型 GIS を構築する。

### 統合型 GIS

地方自治体で使用する地図データのうち、複数原課（都市計画、道路、下水道、農地、固定資産など）が利用するデータ（道路、街区、建物、河川など）を共用できる形に整備し、統合して維持管理すること

## 令和6年 11月議会 創生静岡代表質問

市長の政治姿勢として令和7年度予算編成についてと、これまでの施策について質問しました。

### 令和7年度予算編成方針について

令和6年度は難波市長就任から2年目を迎え、“これまでの延長上の市政運営では、通じない”という認識のもと、行政運営を進めてこられました。一方で、令和7年度当初予算編成方針においては、令和7年度から13年度に68億円から81億円の大幅な財源不足が発生し、厳しい財政状況が続く見込みとなっています。

**Q** 市長は、令和7年度当初予算でどのようなことに重点的に取り組んでいきたいと考えているか。

**A** 本市の人口減少問題に歯止めをかけるため、「暮らしの安心感」と「経済的な安心感」を高めるための取組や、子どもや若者がこのまちに住み続けたいと思うことができる取組をもっと充実させていく。

一方で、近年、本市はまちづくりのための大規模な投資などを十分に行ってこなかったと言わざるを得ない。このため、令和7年度当初予算では、財政の健全性を維持しつつ、より積極的な財政出動を行う必要があると考えている。

特に重点的に取り組むべきと考える分野は、「子育て・教育や健康長寿への対応」、「災害対応力の強化」、「地域経済の活性化」、「文化・スポーツを活かしたまちづくり」、「社会変革の促進」の5つ。こうした点を中心に社会との「共創」により実現するため、創意工夫を行った上で当初予算編成を行っていく。

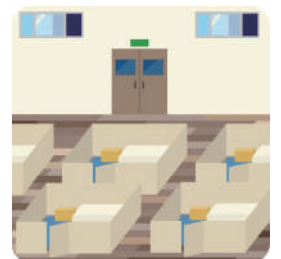
### 非常時の避難所運営について

非常時の円滑な避難所運営について整備を進めることも、安心安全なまちづくりの一部であると言えます。一方で静岡市の避難訓練では、避難所運営という観点に立った実践的な訓練をしている地域は、ごく一部に限られている現状です。



**Q** 避難所運営の経験のない市民が円滑に避難所を運営するため、市はどのような取組を行っていくのか。

**A** 自主防災組織に対しては、平時から避難所運営体制やレイアウトなどについて整備しておくよう依頼している。現在、市政変革研究会において進めているDXを活用した地域活動団体の活動負担の軽減に向けた取組と連動し、避難者の受付や運営組織の立ち上げなど、誰もが、容易に避難所運営ができるシステムの構築についても検討を進めていきたいと考えている。



### 観光基本計画について

現在策定中の観光基本計画は、特定のエリアやテーマを重点化したり、インバウンド戦略として掲げる対象国・地域を限定して推進したりするなど、これまでにない特徴があります。

**Q** 本市観光政策の推進における観光基本計画策定の意義は何か。

**A** 計画策定の意義は、①4次総の「観光・交流分野」の個別計画として位置付け、本市組織や職員が取り組むべき事項を可視化した事、②市民や関係者の皆さんの共感を得て、地域社会全体が一体となり取り組む「共創」による観光振興のよりどころとしている事、の2点。年内の公表に向けて最終調整中であるが、策定後も毎年変化する観光に関するトレンドを敏感に捉え、柔軟に見直しを図りながら観光政策に取り組んでいく。



## 都市建設委員会



人口推計を踏まえた市営施設の整備計画にしていくことは、限られた財源を有効活用するためにも重要です。一方、激甚化する災害には更なる対策が必要であり、機動的な対応が必要です。

### 水害対策事業 9,040 万円

- 危機管理型水位計の設置  
洪水浸水想定区域や台風 10 号で氾濫した河川への設置
- 排水ポンプ車の購入  
台風等の大雨の際に、氾濫の危険性がある河川の排水処理を行うために購入

### 上土団地建替事業 5,000 万円の減額

将来の人口推計を踏まえた団地の必要戸数の見直しにより、設計業務完了が来年度になるための現年予算の減額。1～9号棟計234戸を2棟64戸へ集約。



排水ポンプ車の活用イメージ

## 総務委員会

### 静岡市移住者住宅確保応援事業費助成 1,350 万円

本市の人口減少は、特に人口流出が顕著で首都圏を中心に女性の流出が大きい。政令市初（浜松市も）新制度を来年2月3日からスタート。

対象者は、39歳以下の県外から市内への移住者、または18歳未満の世帯員を帯同する県外から市内への移住者。

### 日本平周辺環境調査業務経費 3,300 万円

静岡市最大の観光地・日本平。夢テラス（富士山の眺望）久能山東照宮。最大限に活用するため、今後民間投資も検討に先駆け、大鷹など自然環境保全に向けた調査。



## 市民環境教育委員会

### 市有施設照明整備 LED 化事業 15 億 6,760 万円

令和 12 年度の市有施設の照明設備の完全 LED 化に向けた計画的な照明設備の更新。

- 駿河区役所、市営駐輪場、小学校グランド夜間照明など 55 施設を、令和 1 年 1 月～令和 8 年 3 月で施行。
- 令和 8 年度に LED 照明設備の更新を行う施設のアスベスト含有量などの調査を実施。小中学校、こども園、図書館、消防署など 132 施設。



国は令和 12 年度までに完全 LED 化を目指しているが、本市の LED 化率は 12%に留まっている。第 3 次静岡市温暖化対策実行計画を進めるうえでも重要であり、更なる取組が必要。

## 観光文化経済委員会

### アリーナ整備事業 PFI アドバイザリー業務経費 6,600 万円

想定される施設整備は約 300 億円。稼げる施設として位置づけ、魅力的なイベント等の開催による収益の最大化と市の財政負担を軽減するため PFI コンセッション方式を採用。

すべての手続きが順調に進んだ場合 2030 年に開業予定。

### ブルートランスインフォメーション推進事業 2,275 万円

海洋技術の革新を進めるため、静岡理工科大学への海洋 DX コース（修士課程）の開設に向けた駿河湾・海洋 DX 研究室の設置及び人材育成プログラムの開発。駿河湾の海洋データ分析を行う計算機等を購入。



産業・研究機関が集積する清水港と駿河湾

アリーナ建設は大規模投資につながる可能性があるためしっかりと精査。海洋技術の推進については本市にとって不可欠のテーマです。

## 企業消防委員会

### 災害拠点病院の周辺を地震に強い水道管に取り替え

#### 導水管・配水管布設替工事 9 億 6,100 万円（追加債務負担）

想定される巨大地震に備えるため、災害時拠点病院・救護病院に繋がる水道管を耐震管への布設替えを、前倒して工事着手。

耐震管への取り替えは市立静岡病院、静岡赤十字病院、市立清水病院、清水厚生病院の管路上流部にあたる葵区駿府町、城内町、清水区庵原町、村松の 5 箇所。

このうち葵区の水道管は、県庁や本市庁舎、県警本部など重要施設も含まれている。

本市上下水道局は本年 1 月の能登半島地震において被災地支援を行なったが、支援で得た知見を今後の本市の防災に活かしていく。

## 創生静岡 令和7年度 政策提言書を提出

創生静岡は11月11日、難波市長へ来年度へ向けた政策提言を提出しました。

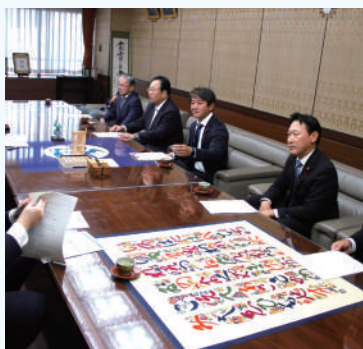
この提言においては、「市民が幸せを実感できる静岡の実現」を中心に、人への投資を行っていくことが本市にとって重要であるとの考えで編成。予算編成に際しては、財政の中期的財政見通しを捉えると共に、『論理と根拠に基づき実行方法を考え、分かりやすく社会に提示し、地域社会や市民の共感を得て実行する「根拠と共感に基づく政策執行」』の推進を強く要望しました。

部門別要望として、以下の6部門41項目を提言

- I. 健全な市政運営の推進
- II. 安心安全なまちづくり
- III. 子ども子育てのしやすいまちづくり
- IV. 賑わいのあるまちづくり
- V. 健康長寿のまちづくり
- VI. 持続可能なまちづくり



提言書の全文は  
こちらから



更に、以下の点についても重点要望として提言しました。

- **危機管理の強化**
  - ・ 危機管理情報のデジタル化と市民共有
  - ・ 静岡市浸水対策推進プランの機動的な取り組み強化
- **児童・生徒への支援の拡充**
  - ・ ヤングケアラー、貧困など困難を抱える生徒への対応強化
  - ・ 不登校をなくすため、誰ひとり取り残さない教育機会を確保すること
- **JR 静岡駅南口の再整備**
  - ・ 駅前広場の再整備については、JR 静岡支社も含め一体的な再整備に努めること
  - ・ 駅前広場には駿河区の玄関口としてふさわしいシンボルを設置すること

## 大浜公園プール 2025年7月19日 リニューアルオープン！！

### ☆流水プール

全長 250m、幅 6mの流水の変化のあるプール。中ノ島にはバーゴラやヤシの植栽により、リゾート感のある休憩スペースを提供。



### 【利用料金】

市内高校生以上 800円 (市外1,000円)  
市内小・中学生 400円 (市外500円)  
3歳以上の幼児 100円



### ☆ウォータースライダー

長さ 82mの線形の異なる2つのスライダーを設置。下部空間は芝生の休憩スペース。

### ☆アトラクションプール

迫力満点のバケツアトラクションをはじめ、すべり台や水車等の様々な水のアイテムを組み込み、五感を刺激する演出を行う。

